

学習内容報告書

学校名	鹿児島市立桜峰小学校
授業者	桜峰小学校（肝付 寛人）

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名（大単元）

わたしたちの生きる島「錦江湾・桜島博士になろう」海をスケッチしよう！

1-2. 学年

第1学年～第6学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

図画工作科

1-4. 単元の概要（小単元）

桜島北部の古河良（ふくら）は、20隻以上の漁船が停泊し、現在も漁業関係者の拠り所となっている漁港である。栈橋は作り替えたばかり。漁港の組合長宮元さんからは、海と密接な関係をもちながら生活を営んでいることを聞く。その機能や歴史について知るとともに、漁船や海の様子をスケッチすることで、海に親しむ活動とする。

目的達成のために、下記のような学習過程を経る。

- (1) 桜峰小学校よりバス乗車
- (2) 古河良到着
- (3) 宮元さんの話
- (4) スケッチ
- (5) 帰校

1-5. 単元設定の理由・ねらい




ふるさと桜島についてより深く知りたいという意欲は高まっている一方で、活動によって何が分かり、何ができるようになったかという学びの実感が不足しているため、ふるさと桜島のよさを捉えきれていない。

そこで、スケッチ大会を通して、桜島をとりまく錦江湾の恵みや桜島の歴史、桜島に生きる人々の想いに触れる学習を通しながら、創意工夫して課題解決を行おうとする姿や表現力を身に付けさせたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

単元を通して、創意工夫して課題解決を行い、豊かな表現力を身に付け、積極的に学びの成果を発信する子どもの姿を実現したい。

1-7. 単元の展開

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
4	わたしたちの生きる島「錦江湾・桜島博士になろう」海をスケッチしよう！	外部講師／宮元春清氏 ◆ 自分の想いを表現することができているか。 ◆ 海のイメージを表現することができているか。 ◆ 自分の活動場面や絵を iPad で撮影し、記録することができたか。 ◆ 安全に、救命胴衣を着用しながら描くことができたか。
<p>【活動の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
4	下書きに色を塗り，絵を完成させよう。	教師の指導／各学級担任 ◆ ふるさと桜島についてより深く知ることができたか。 ◆ ふるさと桜島の良さに気付くことができたか。 ◆ 桜島の良さを表現することができたか。
外	完成させることができた。	

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

スケッチ大会を通して、桜島をとりまく錦江湾の恵みや桜島の歴史、桜島に生きる人々の想いに触れる学習を通しながら、創意工夫して課題解決を行おうとする姿や表現力を身に付けさせたい。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>(1) 諸注意 8 : 30 (校庭)</p> <p>(2) 出発 8 : 40 (西側門)</p> <p>(3) 古河良 (ふくら) 港到着 9 : 00</p> <p>(4) 諸注意 9 : 05</p> <p>(5) 活動開始 9 : 10 休息 10 : 10</p> <p>(6) 活動再開 10 : 25 ~ 11 : 20 活動終了</p> <p>(7) 古河良 (ふくら) 港出発 11 : 30</p> <p>(8) 桜峰小到着 11 : 50</p> <p>(9) バスへの挨拶・(校庭で) まとめ言葉 (係) 11 : 55 各学級に移動 12 : 00</p>	<p>【指導方法】 漁港組合長宮元さんによる講話</p> <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ iPad で撮影を行わせ、ロイロノートにポートフォリオ形式でまとめさせ、提出させる。 <p>留意点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ SIMカード付のモバイルルーターを持って行く。また、画面が破損しないように、ガラスフィルムを貼らせる。 ○ 描きたい対象を捉えさせ、画面いっぱいに描くことを指導する。 ○ 外部講師の宮元さんに漁船に乗せていただき、海と一体となった感覚を大切にしながら描かせる。 <p>【評価の方法と内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 下書きを提出させる。 <p>【評価の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自分の想いを表現することができるか。 ◆ 海のイメージを表現することができるか。 ◆ 自分の活動場面や絵を iPad で撮影し、記録することができたか。 ◆ 安全に、救命胴衣を着用しながら描くことができたか。

3. 今回の活動の自己評価

- ◆ 楽しんで海を自分なりにイメージしながら活動することができた。
- ◆ 工夫して自分なりの場所を選び、しっかりと活動ができた。
- ◆ 怪我無く、病気なく活動ができた。
- ◆ 普段できない体験をさせることができた。教師も漁船に乗せてもらい、違う角度からの桜島を見ることで、当初の目的であるところの「桜島・錦江湾博士」になるための目標が達成されたように思う。

4. 今後の課題

- ◆ 低学年は、イメージが大切なので、漁船に乗る順番としては早い方がよかった。
- ◆ 栈橋や港でのスケッチ大会なので、日陰を作るためのテントがあった方がよい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。